

“ど真ん中に食と農”

2023
事業案内

次代につなぐ地域づくり



JAふくしま未来



経営理念

未来への心をつなぐ パートナー

“農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。
 暮らしの豊かさと安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなぎます。
 私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、
 誠実・確実に果たしてまいります。

一. ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなぎます。



一. 創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなぎます。



一. 豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなぎます。



一. 地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなぎます。



JAふくしま未来の概要 (令和5年2月末現在)

- 名 称 ■ ふくしま未来農業協同組合
- 所 在 地 ■ 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
- 設 立 ■ 平成28年3月1日
- 管 轄 地 ■ 福島市、伊達市、二本松市、本宮市、相馬市、南相馬市、
伊達郡川俣町、伊達郡桑折町、伊達郡国見町、
相馬郡新地町、安達郡大玉村、相馬郡飯舘村 の12市町村
- 出 資 金 ■ 162億5,493万円
- 組 合 員 ■ 93,429人 (92,554人、875団体)
うち正組合員 46,556人、239団体
准組合員 45,998人、636団体
- 職 員 数 ■ 1,557人
- 事業所数 ■ 支店 62 出張所 4 営農センター 27 農産物直売所 10



みらいろ4兄弟



ホームページ

沿革・あゆみ

- 平成25年3月 福島県北地区JA合併推進協議会設立
- 平成27年9月 合併予備調印式
10月 合併総代会
- 平成28年3月 ふくしま未来農業協同組合発足
4月 JAふくしま未来女性部本部設立総代会
5月 第1回通常総代会
6月 「あんば工房みらい」完成
7月 小川集出荷所完成
9月 「JA歯科医院もとみや」開院
11月 吾妻水稻育苗センター完成
- 平成29年2月 「JA秋田おぼこ」との友好JA協定締結
「みらいろ女子会」設立
3月 イメージキャラクター「みらい4兄弟」誕生
こらんしょ市二本松店リニューアルオープン
4月 山木屋支店営業再開
5月 JA共済優績組合表彰「共済大賞」受賞
第2回通常総代会
7月 「生協コープおおいた」、「エフコープ生協」との
友好協力協定締結
11月 管内12市町村「地域見守り活動」協定締結
- 平成30年3月 「みらいろポイントカード」サービス開始
4月 大枝支店、白沢支店完成
5月 第3回通常総代会
7月 「東京農業大学」との包括連携協定締結
12月 第10回JAみらいサミット福島開催
- 平成31年・令和元年
3月 JA地域くらし活動支援事業開始
5月 准組合員向け広報誌「みらいろエール」発行開始
第4回通常総代会
6月 「福島大学食農学類」との包括連携協定締結
- 10月 原町テント倉庫完成
- 令和2年4月 梁川総合支店移転オープン
5月 第5回通常総代会
6月 「産地情報ライブカメラ配信システム」導入
10月 「みらいホールやながわ」完成
12月 農産物PRチーム「J-FAP」結成
ふくしま未来農業協同組合合併5周年記念式典
第4回ジャパンSDGsアワード受賞
- 令和3年1月 RPAシステム導入
5月 安達地区広域共選場きゅうり選果施設稼働
JA共済優績組合表彰「共済大賞」受賞
第6回通常総代会
6月 花卉共選場稼働
9月 福島・伊達地区の金融店舗で隔日営業開始
- 令和4年2月 JA広報大賞「総合の部」準大賞受賞
JA全中「農業協同組合表彰規程」に基づく「特別優良表彰」受賞
4月 「JAふくしま未来花き部会」設立
5月 「JA都市農村交流優良活動事例発表」最優秀
賞受賞
第7回通常総代会
8月 小高園芸団地稼働
- 令和5年1月 日本記念日に「伊達のあんば柿の日」認定
「伊達のあんば柿」GI認証登録
2月 JA広報大賞「審査員特別賞」受賞
白根支店、小坂支店、小手支店閉店
4月 「JAみなみ信州」との包括連携協定締結
5月 梁川営農センターグランドオープン
第8回通常総代会
7月 日本記念日に「ふくしまの桃の日」認定

【主な事業の内容と活動報告】

自己改革実践中!!
“ど真ん中に食と農”
次代につなぐ地域づくり

創造的自己改革

組合員の願いを実現するため、JAが多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく積極的かつ多彩な事業と組織活動を展開し、地域の農業とくらしになくてはならない組織となることを目指す改革です。

営農指導事業



農業生産者を対象に栽培技術指導や販売・経営に関する相談に応じております。

さらに、農家の担い手や農業法人の育成など産地形成や地域農業の活性化に取り組んでいます。

指導事業は、JAが取り組む様々な事業を有機的に結びつけ、事業を利用する方々の満足度を高めるための土台となっています。

◇農業のさらなる発展・成長のために

JA自己改革の「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、「農の達人」による営農指導、担い手涉外・営農指導員による巡回、常勤役員による認定農業者等との意見交換に取り組んでいます。



●農の達人

各地区の中核農家を「農の達人」（8品目・16名）として委嘱。その時期の作業における技術を指導し、生産者の技術向上を目指します。



●「JAふくしま未来版のれん分け方式」の取り組み

各地区に1名ずつ、就農支援担当者を配置し、就農相談から就農定着までの3年間を重点的にサポートしています。

のれん分け方式による研修受入れ先の紹介及び離農する担い手へ農業経営の第三者継承について支援しています。

（令和4年度 研修受入れ先76名・農業研修者15名）

●農業支援体制

- ・新規就農者支援－担い手育成給付金事業（利用者57名、給付額2,410万円）
- ・農業法人、集落営農組織
- ・認定農業者等担い手と常勤役員による意見交換会の実施



●JGAPの取得促進

～安全な農作物の提供へ～

団体認証2部会、199農場で取得 (668.2a)
JGAP指導員201名、内部監査員206名

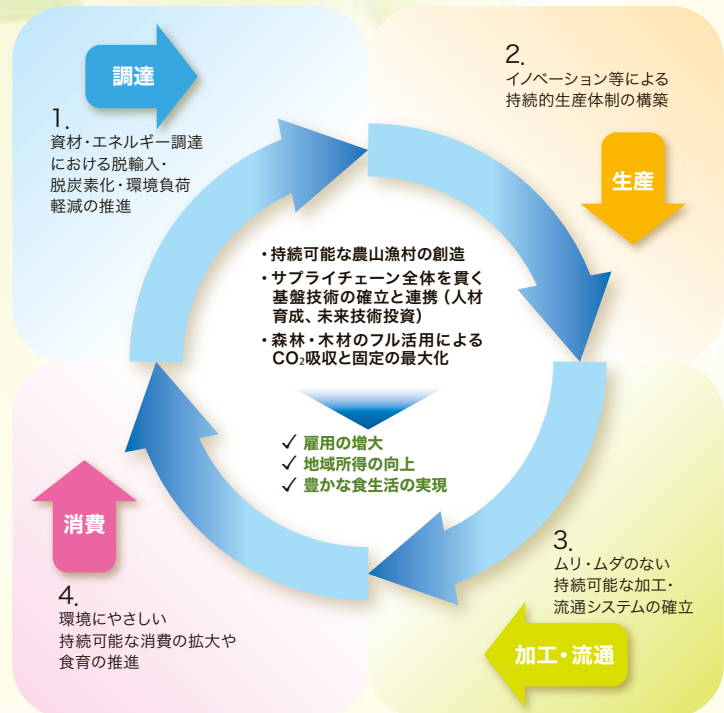
※JGAPとは

食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証のこと。農林水産省が導入を推奨する農作業生産工程管理手法の1つです。第三者機関の審査により、認証が与えられます。



みどりの食料システム

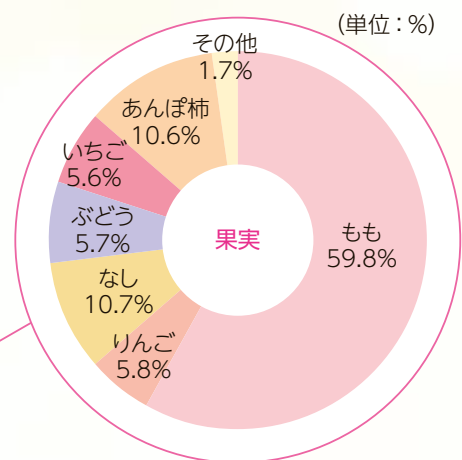
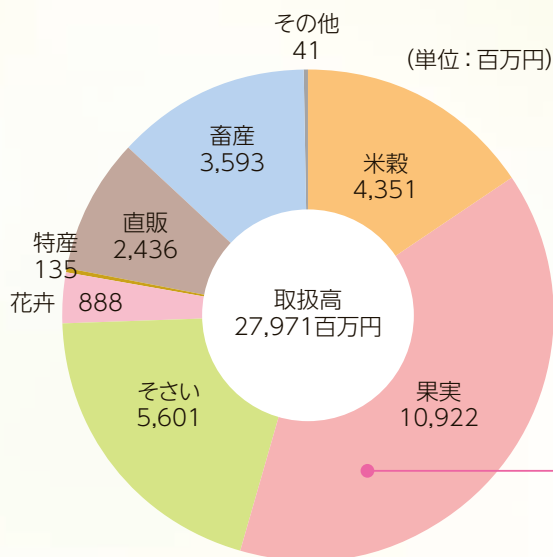
～食料・農林水産産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～



販売事業

組合員の皆さまが生産した農畜産物を集めて、卸売市場や量販店などに出荷・販売します。

また、管内にはJA直営の直売所が10ヶ所あり、地産地消や安心安全な農産物供給に貢献しています。



●販売戦略の強化

主要市場による有利販売、直接販売や買取販売等、新たな販売手法・輸出等の販売拡大により、販売単価をさらにアップ、販売品販売高300億円をめざします。

海外については、タイ・マレーシア・インドネシア等に、もも、なし、りんご等の輸出にも取り組んでおります（令和4年度輸出実績合計51.2t）。また、令和4年1月よりUAE（ドバイ）へあんぽ柿の本格輸出を開始しております。

「ふくしま桃の日」 「伊達のあんぽ柿の日」 記念日認定

ふくしま桃の日

7月13日、26日、8月8日の3日間

福島県発祥で桃を代表する品種「あかつき」の個体番号が「れ-13」であることから、「ふくしまの桃」が非常に美味しい時期の7月13日を起点として13日周期の3日間としました。



伊達のあんぽ柿の日

12月13日、1月13日、2月13日の3日間

伊達のあんぽ柿独自の硫黄燻蒸製法の確立、普及に携わった人が13人だったことや、発祥の地伊達市梁川町五十沢（いさざわ）にちなんで最盛期3カ月の13日としました。



「伊達のあんぽ柿」 GI認証登録!!

管内の主要品目である「伊達のあんぽ柿」を2018年1月26日に、地域特性を生かした農産品ブランドを守る「地理的表示 (GI) 保護制度」へ申請。2023年1月31日にGI制度の対象として登録されました。国内での「あんぽ柿」としての登録は初めてです。

「あんぽ柿」生産において、半生と完全な渋柿きの両立は非常に困難で、晩秋から初冬の冷涼で穏やかな気温変化に加え、半田山から吹いてくる「半田おろし」という冷たく乾いた弱い風と朝夕の冷え込みにより発生する「阿武隈川の川霧」による調湿作用を活かした、半生の乾燥方法を確立しました。



●地産地消を応援!!



「みらいポイントカード」

会員数75,989名 (令和5年6月末時点)

- ・お得なポイントサービス: 200ポイント貯まるとお買物券発行!
- ・JA利用による会員ランク制度: JA事業利用に応じて、ポイント獲得率がアップ!
- ・協力店 (地産地消応援サポーター)
会員証提示で特典やサービスが受けられます。

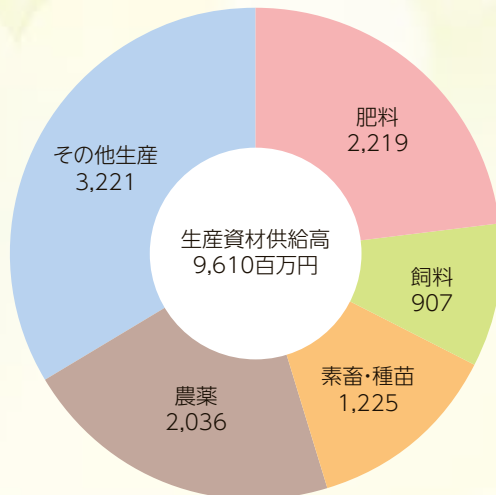
654社 (令和5年6月末時点)



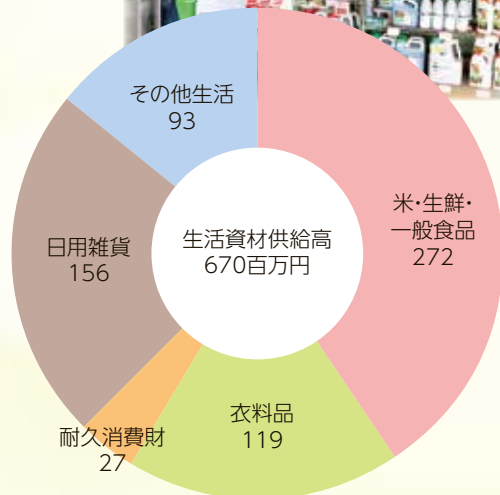
購買事業

農産物の生産に必要な資材や生活に必要な物資を共同購入し組合員等へ供給しております。

営農センター・資材店等では、農産物を出荷している農家向けの品物だけでなく、家庭菜園向けの品物や、食品・生活用品も取り揃えております。



(単位：百万円)



●生産コストの引き下げを目指して ～スケールメリットの創出～

生産コスト引き下げのため、オリジナル肥料の普及拡大や予約供給拡大といった取り組みをすすめ、肥料・農薬等重点品目の地域最安値に挑戦します。

JAふくしま未来オリジナル肥料の開発

『みらい物語』シリーズ

果樹7品目、野菜3品目、水稻5品目



最安値への挑戦

肥料・農薬地域最安値を目指し、肥料6品目、農薬21品目で取り組みました。

介護事業

組合員・利用者が住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう、ご自宅で提供する訪問介護、ご自宅から通える通所介護、ベッド・車いすを借りられる福祉用具貸与や販売など様々な介護保険サービスのほか、それらを介護利用者様・ご家族様のニーズに合ったサービスの調整をする居宅介護支援なども行っています。

また、口腔機能を維持できるよう歯科医師が、外来以外にもご自宅や施設へ往診を行っているほか、地域の要望に応じて講演や発表なども実施しています。

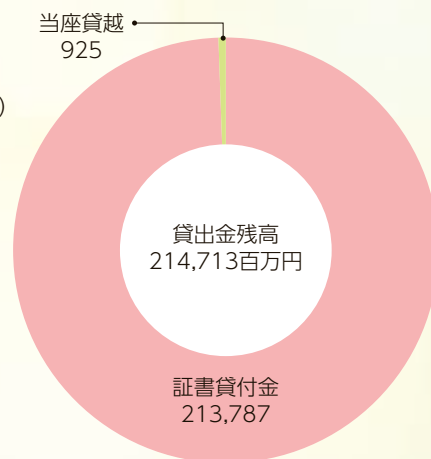
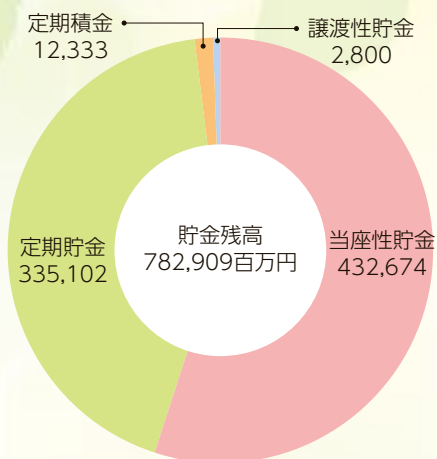


信用事業

貯金・貸出・為替をはじめとする金融サービスを提供しております。
組合員の皆さまなどからお金を預かり、それを農業振興や生活向上に必要な資金として融資しています。

JAの信用事業は「JAバンク」として全国のJAと手を携えた「JAバンクシステム」により安全に事業を行っています。

皆さまの大切な財産を安心してお預入れいただけます。



当組合は、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していく）を共通理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めております。

農業メインバンク機能の強化

「農業近代化資金」、「アグリマイティー資金」、「担い手応援ローン」、「JA新規就農応援資金」等、農業経営を応援します。

生活メインバンク機能の強化

「住宅ローン」、「教育ローン」、「マイカーローン」をはじめ、夢の実現を応援します。

国債・投資信託窓口販売

国債（新窓口国債、個人向け国債）及び投資信託の窓口販売の取り扱いをしております。

遺言信託事業（相続、事業継承支援）（令和4年度実績）

世代交代・後継者対策として積極的に展開してまいります。

遺言書作成支援8件 法務・税務相続20件

●MA（マネー・アドバイザー）

貯金・年金・融資など金融商品に関する専門知識を持ち、地域の方々のお役に立つよう、日々訪問活動を行っています。

金融に関する様々な提案や将来の資産形成のお手伝いをします。

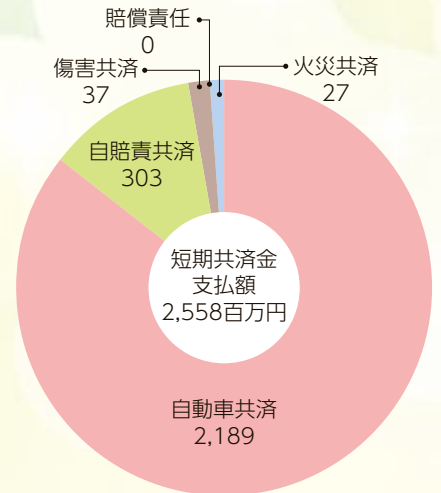
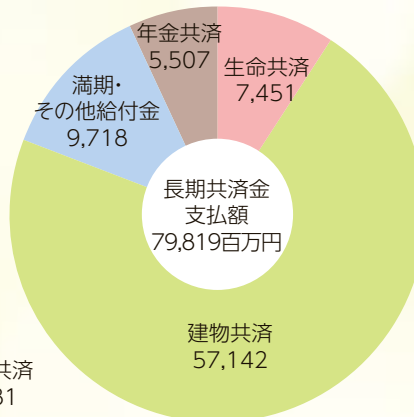
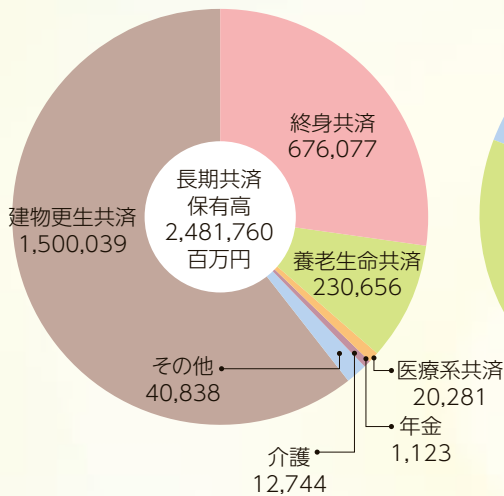


共済事業



相互扶助を事業理念に、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を通し、皆さまの暮らしに確かな安心をお届けします。

(単位：百万円)



●スマイルサポーター

窓口におけるJA共済の「顔」として、組合員・地域の皆さまへ総合保障について相談・提案を行っております。

●LA (ライフ・アドバイザー)

JA共済について専門知識を持ち、ライフプランに応じた様々なニーズにお応えします。また、ご契約者さまへのフォロー活動・保障見直し活動も行っております。



子会社

JAふくしま未来には、燃料・LPガス、冠婚葬祭、リフォーム、家電、農機等を取り扱う「(株)JAふくしま未来サービス」。種苗・果実・野菜の生産販売や農作業の請負・受託、農業担い手育成・研修、農業労働者の紹介等を取り扱う農業生産法人の「(株)新ふくしまファーム」「(株)みらいアグリサービス(株)」「(株)アグリサービスそうま」と合わせて4つの子会社があります。



地域貢献について

組合員や地域の皆さまの生活意識・価値観に応え、地域の各組織と連携しながら、多岐にわたり地域社会の活性化に取り組んでおります。

食育教育や高齢者福祉、子育て支援事業などを通じ、「安心して暮らせる住みよい元気な地域づくり」に貢献しております。

また、女性部による「こども食堂・みんなの食堂」2店舗で月1回開催や、旧購買店舗を利用した「しらね里山の店」では日用品や食材を週2回販売しております。

食と農業の大切さを学ぶ ～食農教育～

学校教育支援事業

- 花育授業
 - 小学校 延べ3,774名
- 食育授業
 - 小学校・幼稚園 延べ44校
- バケツ稲づくり
 - 種まき、中干、稲刈り 延べ19校
- 野菜苗定植・収穫
 - 小学校・幼稚園 延べ34校
- 小学校へ食農教育資材の贈呈
 - 小学校 延べ120校

親子農業体験イベント

- 「みらいろアグリ塾」
 - 参加者 延べ86名
- 「ちびっこ農業大学」
 - 田植え、稲刈り体験・収穫祭



心と体の健康づくり

- ウォーキング大会
 - 2回 延べ367名
- 健康増進活動
 - 農村・地域住民の健康づくりと生活福祉向上
- ふれ愛グループ
 - 介護施設訪問慰問、幼稚園児との交流、1人暮らし高齢者訪問等
- 年金友の会
 - ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、ゴルフ大会



文化活動 ～生きがいがづくり・伝統継承～

- アグリカレッジ
 - 4コース 延べ80名
- 女性大学「みらいスクール」
 - 6回開催 延べ384名
- きらり女性大学
- レディース講座
- 女性部交流大会
- 伝統料理教室、地産地消料理教室、地域の寺子屋



地域くらし活動支援

管内の地域貢献や地域活性化に取り組むグループ団体等の活動（くらしの活動、高齢者支援活動、環境保全活動等）に1団体上限10万円の資金助成を行っております。



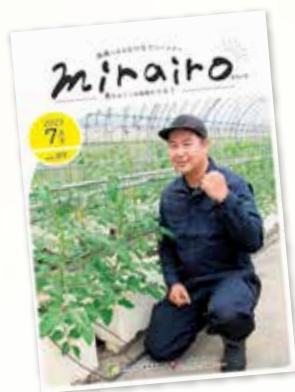
情報提供活動

- 広報誌「みらい」の発行
→ 毎月発行の組合員向け広報誌
※ JA 広報大賞「審査員特別賞」受賞
- 准組合員向け「みらいエール」の発行
→ 年2回
- コミュニティ誌「ぐ〜がる」の発行
→ 年2回発行の地域住民向けコミュニティ誌
- 支店だよりの発行
→ 各地区の支店・営農センター単位で毎月発行
している手書きによる新聞



● ホームページやLINEによる情報発信

● 「みらいチャンネル」
YouTubeによる動画発信



「J-FAP (ジェイファップ)」

「JAふくしま未来農産物PR」という意味の英語「JA Fukushima Mirai Agricultural Public Relations」の頭文字から命名しました。

J-FAP(第3期メンバー12名)は、JAふくしま未来の農産物のPR活動を通じて、生産者や消費者との良い関係づくりを目指していきます!!



事業実績

1 主な事業実績の推移

(単位:千円)

項 目	令和3年度	令和4年度
貯 金 等 残 高	761,835,439	782,909,752
貸 出 金 残 高	205,906,017	214,713,018
有 価 証 券 残 高	23,003,142	29,937,115
長 期 共 済 保 有 高	2,466,781,685	2,481,760,903
短 期 共 済 新 契 約 高	5,807,189	5,780,739
購 買 品 供 給 高	9,636,672	10,280,839
販 売 品 取 扱 高	28,843,691	27,971,358

販売品取扱高について、飼料用米の直接交付金を米穀単価に換算した場合

(単位:千円)

項 目	令和3年度	令和4年度
飼 料 用 米 取 扱 高	2,894,659	3,384,381
販 売 品 取 扱 総 額	31,738,350	31,355,739

貯 金 等 …組合員や利用者等から受け入れている貯金や定期積金の額

貸 出 金 …組合員・地方公共団体等への融資額

有 価 証 券 …所有する債券・株式等の額

長 期 共 済 …共済期間が5年以上

短 期 共 済 …共済期間が1年以内

購買品供給高 …肥料・農薬・生活資材等の供給高

販売品取扱高 …果実・野菜・お米等の取扱高

2 収益の推移

(単位:千円)

項 目	令和3年度	令和4年度
事業収益	29,038,368	29,577,366
信用事業収益	5,708,406	5,291,893
共済事業収益	5,447,221	5,292,398
農業関連事業収益	16,248,460	17,615,661
生活その他事業収益	1,348,708	1,272,225
営農指導事業収益	285,570	105,186
経常利益	1,868,032	1,613,822
当期剰余金	1,580,844	1,150,428

(注) 1.事業収益は各事業収益の合計額を表しています。

2.当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。

農業関連事業 …販売・購買(生産)・保管・加工・利用・農用地利用・全袋事業

生活その他事業 …購買(生活)・介護福祉・旅行・その他・指導(生活)事業

3 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和4年度	科 目	令和3年度	令和4年度
(資産の部)			(負債の部)		
1.信用事業資産	762,775,200	783,676,005	1.信用事業負債	774,122,161	794,658,251
2.共済事業資産	10,280	8,924	2.共済事業負債	3,133,789	3,039,025
3.経済事業資産	6,393,115	6,749,190	3.経済事業負債	2,101,810	2,211,011
4.雑資産	3,675,289	3,544,411	4.雑負債	2,276,123	2,077,192
5.固定資産	22,449,805	22,157,055	5.諸引当金	3,145,123	2,968,178
6.外部出資	36,703,074	36,699,573	6.再評価に係る繰延税金負債	2,443,238	2,439,356
7.繰延税金資産	1,068,208	1,073,615	負債の部合計	787,222,246	807,393,016
			(純資産の部)		
			1.組合員資本	39,737,739	40,570,171
			2.評価・換算差額金	6,114,988	5,945,589
			純資産の部合計	45,852,728	46,515,760
資産の部合計	833,074,974	853,908,777	負債及び純資産の部合計	833,074,974	853,908,777

4 損益計算書

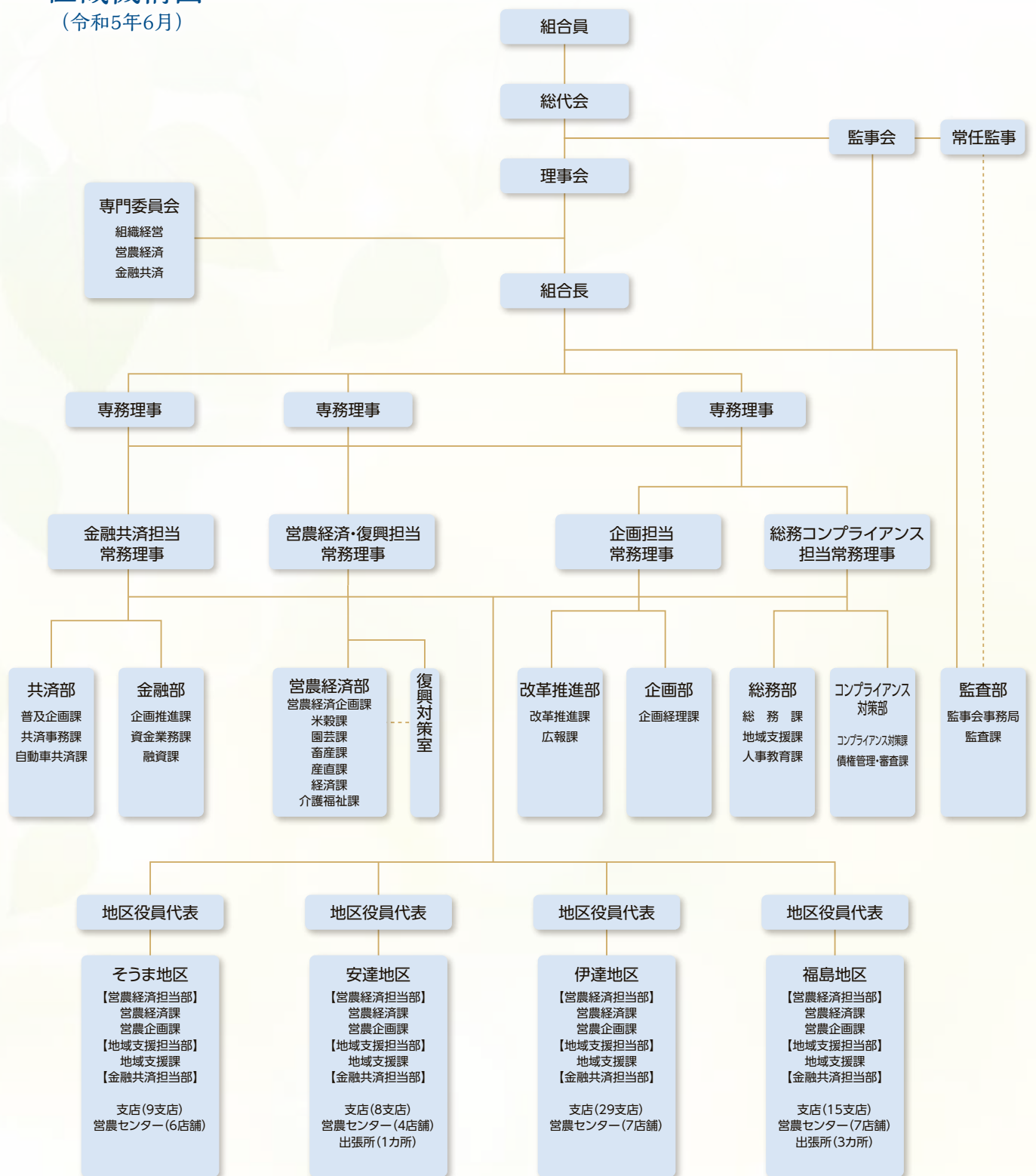
(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和4年度
信用事業総利益	4,864,840	4,529,862
共済事業総利益	5,011,912	4,882,149
購買事業総利益	1,349,658	1,488,548
販売事業総利益	2,260,732	2,245,455
保管事業総利益	62,023	40,203
加工事業総利益	609	914
利用事業総利益	284,160	273,126
指導事業総利益	△395,890	△417,545
その他事業総利益	414,429	372,885
事業総利益	13,852,476	13,415,600
事業管理費	12,721,985	12,523,367
事業利益	1,130,491	892,232
事業外収益	929,031	1,000,204
事業外費用	191,489	278,614
経常利益	1,868,032	1,613,822
特別利益	835,545	239,160
特別損失	552,805	350,846
税引前当期利益	2,150,773	1,502,137
当期剰余金	1,580,844	1,150,428
当期末処分剰余金	2,267,990	1,911,578

5 自己資本の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和5年2月末における自己資本比率は、12.38%となりました。

組織機構図 (令和5年6月)



農産物直売所 ●ここら矢野目店 ●ここら吾妻店 ●Yショップここら西店 ●ここら黒岩店 ●ここら清水店
●ここら川俣店 ●みらい百彩館んめ〜べ ●こらんしょ市二本松店
●旬のひろば ●ふれあい旬のひろば

子会社 ●(株)JAふくしま未来サービス ●(株)新ふくしまファーム ●みらいアグリサービス(株)
●(株)アグリサービスそうま

〔 DX・デジタル化・効率化の取り組み 〕

将来の人口減少、働き方や生活様式の変化、さらなるデジタル化が加速する認識のもと、JAふくしま未来では、2020年より企画部企画経理課にソリューション係を新設し、さらなるデジタル化・データ活用を推進し、DXに向けて取り組んでおります。

時代に対応できるIT人材育成のため、各種講習会への参加を促進し、ITリテラシーの強化やサービスデザイン等、意識とスキルの向上に努め、様々な角度からデジタル化を通した新たな価値の創造に取り組み、さらなる組合員生活とサービスの向上、業務効率化、持続可能な経営基盤の確立に努めてまいります。

また、組織を超えたDX・デジタル化の推進のため、各団体の視察受入等を行っております。

組合員サービスの向上のため、系統組織と連携し（基幹システム連動）、2020年より営農指導員タブレット導入、渉外タブレット（Lablet's）の更新を行い、営農情報や組合員情報の場所を選ばない照会と提供、ペーパーレス申込みによる契約時の記入負担軽減と利便性向上、後方事務の省力化を行いました。

また、今まで指導資料の配布、圃場等で行っていた指導会等に加え、営農指導情報をYouTubeを通し動画として配信することにより、紙ベースでは伝わりにくかった営農技術の全体的レベルアップと継承に取り組みました。

業務効率化では、2021年にRPA・OCRを導入し、各種注文書や人事・共済事務の自動入力化を行い、対象事務作業時間の約90%を削減する事ができました。

2022年にはペーパーレス会議及び役員・幹部職員を対象にタブレット130台を導入。通知連絡や会議資料の閲覧・用紙の削減の取り組みはもちろん、迅速な情報の共有、JA施設以外でもWEB会議が可能など、BCP対策としても活用してまいります。



中期経営計画「第3期みらいプラン」(令和4～6年度)



**ど真ん中に“食と農”、
次代につなぐ地域づくり**
～不断の自己改革へさらなる挑戦～



ホームページに公開中です。
どうぞご覧ください。



「自己改革の総括版」



「PV動画配信中」



「第3期みらいプラン」と
「地域農業振興計画」





JAふくしま未来

ロゴマークは、管内で
生産されている農畜産
物をイメージ

果実：桃（赤）
穀物：米（黄金）
野菜：きゅうり（緑）
畜産：牛（ピンク）



管内の概要

JAふくしま未来は、福島県北東に位置し、中通り北部の県北地域の3JAと浜通り北部の相双地域の1JAが合併して誕生しました。管内面積は福島県全体の19%ほどで、県北地域には中心地域を南北に縦貫する形で阿武隈川が流れ、その流域に盆地が広がっています。地域内には温泉をはじめ、多くの観光資源を有するとともに、もも、りんご、なし等全国有数の果樹地帯を形成しています。海に面した相双地域のそうま地区は、太平洋と阿武隈高地に囲まれており気候は温暖で降雪も少なく、快適な居住環境で、平坦部では水稻、山間部では畜産が盛んです。管内全域で果物・野菜・水稻・畜産がバランス良く生産されています。

